



京都環境賞（大賞）



もりた はすな
森田 蓮奈



活 動
テーマ

コンポストの体験を通じて、
子どもの環境への意識を育てる。

活動内容

京都御池中学校に、給食の残飯を堆肥化するミミズコンポストを1か月間設置して堆肥化に取り組んだ。

また、同心児童館では、中学校の同級生たちや子どもたちにも協力してもらいながら、家庭の生ごみや、地域の八百屋や米屋から集めたクズ野菜、米ヌカを活用し、現在もミミズのコンポストに継続して取り組んでいる。

さらに、子どもたちがミミズと親しみながら、自然の循環を実感できるよう、時折、牛乳パックや植木鉢を使った簡易コンポスト作りのイベントも開催している。



↑ 同心児童館にミミズコンポストを設置。子ども達とミミズが触れ合う時間を定期的に設けている。



↑ ミミズコンポストに関するクイズで盛り上がっている様子



↑ 生ゴミの投入（餌やり）は小学校低学年にかなり人気だそう。野菜クズは近所の八百屋さんや児童館の利用者にもらっている。



↑ ミミズ糞土で育ったプチトマト



↑ 牛乳パックや植木鉢でもできるコンポストの作り方のワークショップも開催



↑ 京都大学のトレードフェアでミミズ糞土やミミズの液肥（尿）などを販売し、完売となった。